

「鉄のふしぎ博物館」

来て！見て！触れて！
ふしぎ体感！！

神 戸 新 聞 2009年(平成21年)7月15日 水曜日

姫路の地場産業・鎖の製造会社「衣川製鎖工業」(姫路市飾磨区阿成渡場)が19日、社内に「鉄のふしぎ博物館」を開設する。これまでもミニ博物館として夏休みに社内の一部

を開放してきたが、場所を移して拡張。さまざまな種類の石が磁石に引っつくことや、宇宙から降ってきた隕鉄の重さなど、身の回りの鉄について学べる。(坂本 勝)



飾磨の衣川製鎖工業

姫路

2代目社長
の衣川良介さん(63)は大学卒業後、家の鎖作りについて約40年、携わった。鎖製品について一から学び、注文や質問

開設準備が進む「鉄のふしぎ博物館」＝姫路市飾磨区阿成渡場

「鉄のふしぎ博物館」
19日社内に常設博物館開設

を受けらるうち、身近な鉄について、取引業者でもよく知らないことに気付いた。自分で調べ、鎖についての入門書の冊子を作る一方、2007、08年の夏休みには社内の一室をミニ博物館として開放。また、地元の系引小学校に出向き、天然の磁石や砂鉄などについての授業を行ったこともある。

磁石や隕鉄、多様な製品も

ロマトライトなど貴重な石を並べる。また、コンパスの基になった中国の地盤儀、姫路の明珍火箸、昔の鍵やくぎもある。砂鉄を拡大して観察できるマイクロスコープや磁石の力で浮き上がって回る地球儀など興味深い展示も多い。衣川さんは「不思議な鉄鉱石の生い立ちや鉄の変わった性質を知ってほしい」と話している。

開館は午前9時～午後6時(19日は午前10時から)。見学は要予約で定員15人。強力な磁石があるので、心臓ペースメーカー装着者は入場不可。無料。ボランティアのガイドを募集している。同社079・234・1515